

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | ごみ減量化インフォメーション

図生活環境課
☎ 582-2123

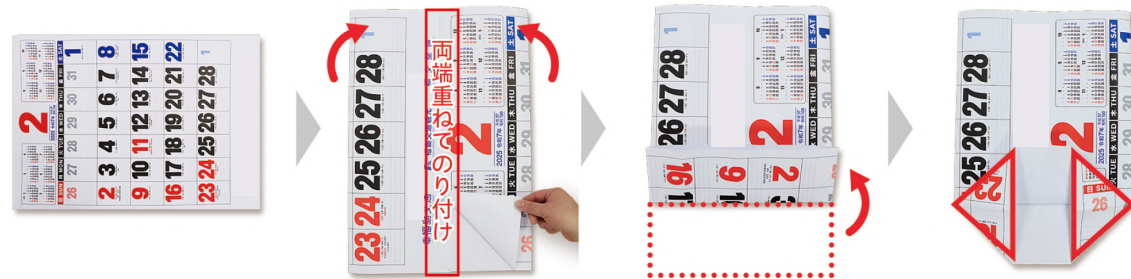


不要なカレンダーや新聞紙で作る雑がみ用ごみ袋

町では紙資源の再利用を推進するため、令和6年4月からごみ収集日程を変更し、古紙回収日を増やしました。町民の皆さんのご協力により、古紙回収量も増えていきます（月平均14トン）。今回は、菓子箱やティッシュ箱など、大きさがバラバラでまとめづらい雑紙を簡単にまとめて出すことができるごみ袋の作り方を紹介します。

雑がみ用ごみ袋の作り方

- ① 大きめのカレンダーなど不要な雑がみを用意
- ② 左右両端を中央で2cm程度重なるように折り、のり付け
- ③ 下側1/3程度を上側へ折る
- ④③で折った部分を開き、三角形ができるよう広げる



- ⑤ 図の枠内にのりを付ける
- ⑥ のり付けした部分が一番上にくるように折り重ね、袋の底部分をつくる
- ⑦ 袋を広げて完成



注意点

- ・種類ごとに分けた雑がみを保管袋に入れる（牛乳パック、お菓子の箱など違う種類を混在させない）
- ・雑がみが溜まったら、中身がでないように口を閉じ、古紙回収に出す（テープ使用不可）

町のごみ排出量

※1人1日あたりの排出量

令和6年12月
979g 前月比-94g
福島県平均（令和4年度）1,021g

分別に困ったら…

伊達地方衛生処理組合のホームページで検索



広告

わたしの夢

Dreams come true.

学ぶ楽しさ伝える教師

つばき
吉田 椿さん（醸芳中3年生）



TSUBAKI
YOSHIDA

人前で話すとき、無意識に声が小さくなる癖があるので、ハッキリと相手に伝わるように話す練習をしていきたいです

私の夢は、楽しく勉強ができるよう工夫を凝らした授業ができる教師になることです。小学生のころは、母に憧れて理学療法士を夢みていました。中学校に入り、友達から勉強についてよく質問を受けるようになり、一緒に考えながら答えていくうちに、教えることの楽しさや喜びを感じるようになりました。一度では伝わらないことも、何度も説明をして理解してもらえたときは大きな達成感があります。また、私自身、苦手な社会科を克服するため勉強に励み、成績が改善されていくにつれ、今では一番好きな科目に変わりました。学ぶことの楽しさや喜びを感じることで苦手意識は薄れていくはずです。教師になったら、楽しい授業で生徒の学習意欲を引き出せるよう頑張ります。

まちのお知らせ

Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■対象

企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）

■対応日時

原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間

■お願い

会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体をお願いします。

図税務住民課 住民国保係 ☎582-2114

広告

広告